2015年10月1日

経営課題検討委員各位

広報室長　山口加奈

社内報ネット化のご提案

標記の件について、下記のように提案します。次回の経営課題検討会の議題のひとつとして審議いただきますようお願いします。

記

1. 提案内容

現在紙で発行している社内報を、ネット配信に切り替える。

2. 提案の背景

社内報のネット化は大きなトレンドになっている。現在、全社員が1人1台のPCを使って仕事をしており、社内報のネット化によって不利益を被る社員はいない。

3. 効果

ネット化によって、次のようなさまざまな効果が見込める。

* 紙の場合は原稿完成から発行まで1週間必要であるが、ネット化によって発行日の前日の原稿に対しても対応可能になる。
* 社内報の印刷費用は年間2,400万円であるが、ネット化によって費用は激減する（詳細は8項に示す）。
* 印刷の場合はページ数の制約があるが、ネット化によって記事の量が増減しても対応できるようになる。
* アーカイブの面でも問題がなくなり、社員はいつでも過去の記事にアクセスして読むことができるようになる。

4. ネットと紙媒体の特性比較

ネットと紙媒体の特性は大きく異なる。マトリックスで示すと下図のようになる。全社員に発信したい情報の量が増加の一途をたどっている現状を考えると、今後は「考える」よりも「知る」に力を入れる必要があり、ネット化が好ましいといえる。

速い

「知る」ためのツール

浅い

情報の深度

速報性

深い

遅い

「考える」ためのツール

5. 希望する媒体のアンケート調査結果

社内報の読者を対象に、希望する社内報媒体に関するアンケート調査を2013年以降行っている。その結果、グラフが示すように今年はネットの希望が過半数を占めた。

6. 実現方法

ネット社内報の発行は、ネットソリューション株式会社の社内報用ソフト「リアルネットニュース」を導入して行う。なお、ネットによる社内報の制作はテンプレートにテキストを流し込んで写真を指定すればよく、特別な技術は不要である。

7. 導入予定時期

ネット社内報の導入時期は、2016年1月とする。

8. 導入の初期費用および管理・運用費用

導入の初期費用は150万円で、管理・運用費用は合わせて月額2万円である。

9. ネット社内報の画面イメージ

添付資料に示す。

10. 問い合わせ先

本提案に関する技術面、運用面の問い合わせ先（担当者）は下記のとおりである。

広報室　上村翔太（内線：11-2222、e-mail：[shota.kamimura@abc.co.jp](mailto:shota.kamimura@abc.co.jp)）

以上